

「自然環境」をテーマとしたセミナー(講義)

◆時間: 10:30-12:00

◆場所: 埼玉県環境科学国際センター 研修室



セミナーⅠ

「埼玉県における希少生物の現状」

講師: 安野 翔 博士(生命科学)

埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当 主任
生物多様性保全担当 主任(兼任)

セミナーⅡ

「ムジナモとその生育環境の回復」

講師: 金子 康子 博士(植物学・植物細胞生物学)
埼玉大学名誉教授 元教育学部 自然科学講座



セミナーⅢ

「宝蔵寺沼の水環境」

講師: 塩澤 豊志 博士(物理化学・分析化学)
武蔵野大学 サステナビリティ研究所 研究員

主催: HiSEP / HiSEP-Mirai / HiGEPS / 科学者の芽育成プログラム
科学者の芽～目指せ次世代科学者チャレンジプログラム～
hisep.saitama@gmail.com
048-858-9302



日付	2025年3月28日(Fri)
集合時間&場所(A)	AM 8:20 埼玉大学正門前 ※正門を入れて直ぐに左折し、 約100m先の事務局棟脇に集合
集合時間&場所(B)	AM 9:00 大宮駅西口 ※西口から線路を背にして大通り徒歩5分 大宮ソニックシティビルを過ぎて右側 シーノ大宮サウスウィングビルとの間の路上
当日の連絡先	080-7747-8007
メール	hisep.saitama@gmail.com

※昼食(お弁当)持参

HiSEP-Mirai



研修の目的

社会問題としての「ムジナモ」に関わる環境問題を取り上げ、Nature Positive の視点から、その生物学的な特徴と、「野生絶滅種」に至った歴史、そこから「絶滅危惧種」までの回復に寄与した取り組みについて学びます。

研修先



① 埼玉県環境科学国際センター

埼玉県加須市上種足にある環境学習施設と環境研究所が一体となった環境科学の中核機関である。埼玉大学の連携大学院でもある。展示館や各種イベントなど、様々な環境学習の機会や情報提供などの多面的な機能を兼ね備えた施設。



② 宝蔵寺沼

宝蔵寺沼を含む周辺一帯は古くには湿地帯であり、池沼なども数多く所在していた。現在、日本で唯一のムジナモ自生地となっており、水生植物や水鳥を観察することが可能である。「宝蔵寺沼ムジナモ自生地」として国の天然記念物に指定されている。



③-1 羽生水郷公園

「生物と自然」を主題とした文化教養型レクリエーションの拠点となるよう整備された。「ムジナモ(食虫植物)の自生地」に隣接している。



③-2 さいたま水族館

埼玉県羽生市にある淡水魚の水族館であり、羽生水郷公園内にある。埼玉県内に生息する87種類の魚のうち約70種類を、また両生爬虫類、甲殻類など合計約130種1200点を展示している。

研修の流れ

時間	見学・移動	詳細
08:30-10:00	バス移動 A	埼玉大学 → 埼玉県環境科学国際センター
09:10-10:00	バス移動 B	大宮駅(西口) → 埼玉県環境科学国際センター
10:00-10:30	見学①	埼玉県環境科学国際センター
10:30-11:00	セミナー I	「埼玉県における希少生物の現状」
11:00-11:30	セミナー II	「ムジナモとその生育環境の回復」
11:30-12:00	セミナー III	「宝蔵寺沼の水環境」
12:00-13:00	昼食・休憩	研修室(@埼玉県環境科学国際センター)
13:00-13:30	バス移動	埼玉県環境科学国際センター → 宝蔵寺沼
13:30-14:30	見学②	宝蔵寺沼ムジナモ自生地(天然記念物)見学
14:30-15:00	バス移動	宝蔵寺沼 → 羽生水郷公園・さいたま水族館沼
15:00-17:00	見学③	羽生水郷公園・さいたま水族館
17:00-18:00	バス移動 B	羽生水郷公園・さいたま水族館 → 大宮駅(西口)
17:00-18:30	バス移動 A	羽生水郷公園・さいたま水族館 → 埼玉大学

MEMO

